

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和5年(2023)1月31日

2月号

URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/



「伝える」と「受け取る」

副校長 國司 香織

1月17日(火)と19日(木)、低学年と高学年に分かれての「授業参観・懇談会」を行いました。授業参観は今年度最後となり、各学年が教科はそれぞれですが、これまでに学習してきたことを発表する形式での参観でした。発達段階や学習した内容に応じて、個人だったりグループだったり発表の仕方もそれぞれでしたが、どの子ども、「練習を続けてできるようになったこと」「調べて分かったこと」「自分で経験したり考えたりして誰かに伝えたいこと」などを、音楽で、作品で、タブレットを使って、自分の言葉で、など、様々な手段を使って発表していました。そのような中で、全ての発表に共通してあったのは、「伝えたい」という思いだと思います。

人は、新しいことを知るなど、自分の心が少しでも動いた(変化した)とき、誰かに聞いてほしい、伝えたいと思うのではないのでしょうか。子ども達は学習を通して日々新しいことを学び、大小はあるにせよ心を動かす経験をしたときには自然と誰かに「伝えたい」と考えられるように力をつけてきています。しかし、人前で話すなど、「伝える」ことが苦手な人もいるはずなので、そのために、「紙に書く」「絵に描く」など、様々な手段を経験し、「これならできるな。」と思える「伝える手段」を身に付けてほしいと願っています。また、良いこと、良いときだけでなく、辛いこと、困ったことなどでも伝えることができるようになってほしいと思います。

自分に合った手段を見つける以外に、「伝えたい」という思いをもつ理由として、「受け取る」人がいてくれるということもあります。いくら伝え続けても、受け取る人がいて、驚いたり喜んだり反応してくれなければ、「次も伝えよう」とはならないからです。今回の授業参観では、まさに参観にお越しくださった保護者の皆様が受け取ったり、さらには感想を伝えたりほめてくれたりなど、伝えたものを伝え返してくださったことで、子ども達にとって、次へつながる経験となったと思います。発表後の教室は子ども達の笑顔や照れた顔、得意気な顔であふれていました。本校で、算数の授業を中心に「自分の考えをもって学び合い、交流する」場面を意識的に取り入れ、子ども達の自信につなげていきたいと考え、取り組んできた成果が少しずつ表れてきているのだと思います。

今年度も残り2か月ですが、日々子ども達の心を動かす授業に取り組み、子ども達の「伝えたい」欲を高めていけるよう職員一同で励みたいと思います。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。